

クール ジャパン フォレスト
COOL JAPAN FOREST



市と(株) KADOKAWA が、共同で文化と自然が共生した地域づくりを進める構想です。市が周辺環境の整備を、(株) KADOKAWA が中心施設とところざわサクラタウン（仮称）の建設を担い、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」まちづくりを進めます。

☎ 経営企画課 2998 - 9027 FAX 2994 - 0706

ってナンダ？

～新しい物語を所沢から～



ところざわサクラタウン完成予定図(平成 28 年 2 月現在)
 © 1990-2016 BY 隈研吾建築都市設計事務所

所沢市 × KADOKAWA



所沢市には狭山茶や里芋などの農産物、ひな人形や押絵羽子板などの伝統工芸、狭山丘陵や狭山湖のみどりなど、多様な地域資源が存在しています。

一方、(株)KADOKAWA(以下、「同社」といいます)は、出版・アニメ・ゲームを中心とした国内有数の企業です。COOL JAPAN FOREST 構想(以下「構想」といいます)では、同社の情報発信力を活用して、クールジャパン文化を世界へ発信し、海外からの観光客を積極的に呼び込みます。

こうした計画が注目を浴び、国の「クールジャパン拠点構築検討会」が所沢を調査・検討の対象としています！



クールジャパンって？

ここでのクールは、「冷たい」ではなく「カッコいい」。映画・音楽・アニメ・ゲームなどが注目されていますが、食・観光・伝統工芸など、日本文化全体が対象です。

期待される効果



同社は、構想の中心となる施設とところざわサクラタウンを建設・運営します。創業70年の総力を結集し、クールジャパンの総本山として、アニメ・ゲームにとどまらない日本文化の底力や魅力を発信していきます。

市は、自然を大切にしながら周辺整備、観光客や産業の誘致などを進めて、まちの魅力・元気の向上につなげていきます。

共同でみどり・文化・産業が調和した誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」まちづくりを進めます。

役割分担は？

話は2年前にさかのぼります。平成26年1月、浄化センター跡地の解体を含めた売却先を公募した際、約33億円を提示した同社に売却を決定しました。

さらに、公募の条件としていた公共貢献として、同社は市と共同での「文化の力でまちづくり」を提案。所沢の魅力・元気アップにつながるからこれを快諾し、構想がスタートしたのです。

なんでKADOKAWA？

ところざわサクラタウン 完成までのストーリー

◆平成26年
9月 浄化センター跡地売却

◆平成27年
4月 同社が「市と共同のまちづくり」を提案

5月 TEAM START スタート始動

※TEAM START: 市職員と同社社員で構成する構想推進会議



構想共同発表会 (6月)

11月 アドバイザリーボード会議開始
 ※アドバイザリーボード: 構想の方向性や事業コンセプトなどに助言を行う人

◆平成28年



市民ワークショップ (2月)

みんなで楽しく所沢の未来を話しました♪